

長崎総合科学大学 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

世界の国々にいち早く交流の窓を開いた長崎。この長崎に私たちの長崎総合科学大学があります。

私たちは時代と社会の要請に応え、大学として果たすべき役割を担ってきました。現在、人類社会はかつてない勢いで変化をしています。そのため私たちは現在の社会においてのみならず、将来どのように社会が変化しようとも、その社会において自分の足で地に立ち社会に貢献できるような、普遍的な能力を持つ人間を育成することを目指しています。

そのために長崎総合科学大学は建学の精神である「自律自彊」「実学実践」「創意創新」「宇内和親」を体現した者に学位を授与します。

具体的には以下のような人間となることを指しています。

自律自彊

教養・倫理を身につけ、自らを律することのできる市民となる。

実学実践

自然科学に関する基礎知識と工学の専門知識を修得し、「ものづくりとしての実行力」を身につける。

創意創新

論理的思考を修得し、新しい問題に取り組み、新しいものを創造することにより解決できる能力を身につける。工学の専門家としては「ものまねでない新技術の開発力」を身につける。

宇内和親

人間社会の多様な文化を理解し、世界的な視野を持って、社会の一員としてその発展に貢献できる能力を身につける。

工学の専門知識には大きく2つの種類があります。

1つはこれまでそしてこれからも日本の基盤となる工学技術の中核をなす工学の専門知識であり、それを修得した者に工学部工学科は学士（工学）の学位を授与します。

もう1つは、新時代に出現し、これからの社会の基盤となる情報技術と密接に組み合わせ、それを様々な分野に横断的かつ総合的に活用し、その活用を介して様々な分野を繋ぎ、新しい価値を創生するという新しい工学の専門知識であり、それを修得した者に総合情報学部総合情報学科は学士（工学）の学位を授与します。